

命のパスポート

シリーズ 119

改めて災害の備えを お願いいたします

平成30年6月18日市内で震度6弱の地震が発生

発災時間とそのときいる場所で あなたのとるべき行動が変わります

昼に地震が起きたら…

- 家族がそれぞれ別の場所にいる
- 公共交通機関が止まって帰宅困難者が出る
- 炊事の時間帯には火災が多くなる
- 地域に人手が少ない

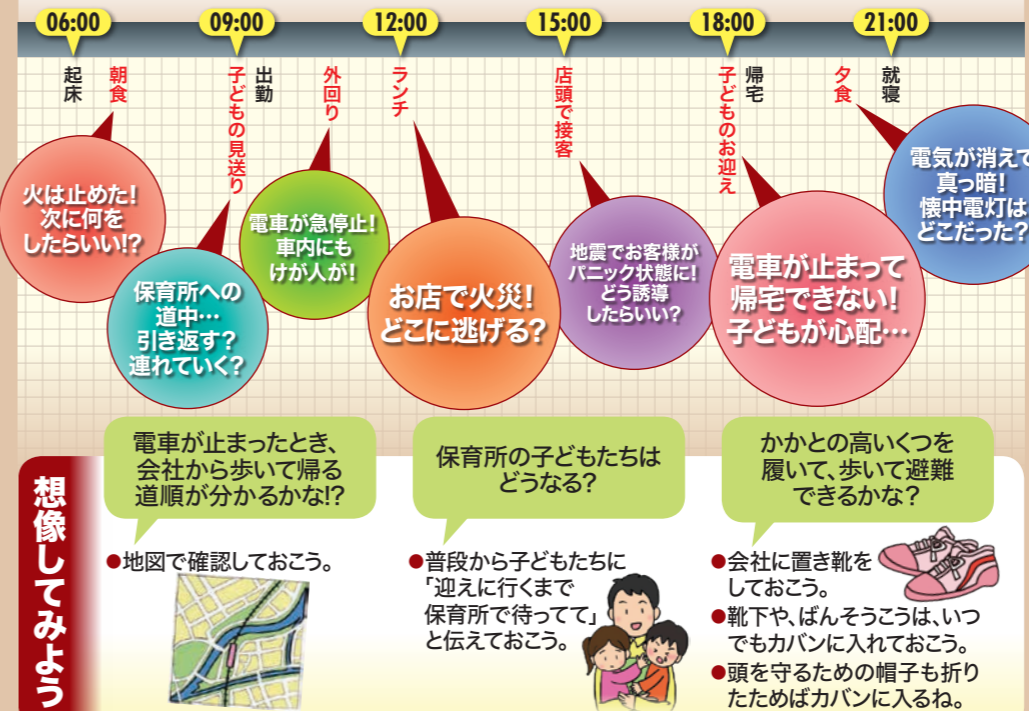
東日本大震災は午後2時46分に起きました

夜に地震が起きたら…

- 多くの人々が家にいる
- 寝ていて倒壊家屋や家具の下敷きになる被害が多く出る
- 灯りの確保がすぐに必要になる
- 灯りがなく救助活動が遅れる

阪神・淡路大震災は午前5時46分に起きました

こんなとき、地震が起きたら…(動いているかたの場合)



(((!!))) 緊急地震速報が鳴ったら どこにいても絶対これだけは!

最優先で身の安全を確保してください!

緊急地震速報が鳴ってから強い揺れが来るまでの時間は、数秒～数十秒しかありません。身の安全を確保するために、次の行動を必ず覚えておいてください。

机やテーブルの下に隠れる

丈夫な机やテーブルの下(物が「落ちてこない・倒れてこない」場所)に隠れ、身の安全を確保する。脚をしっかりとつかんで強い揺れに備える。



大型家具や家電などは揺れた瞬間に転倒・落下します!

机やテーブルが近くにない場合

屋内にいるとき 「その場にあるもの」で頭を守る

枕やカバン、買い物かごなど、その場にあるもので頭を守り、何もなければ、上着で頭を覆うか、手で頭を守る。物が「落ちてこない・倒れてこない」場所へ移動し、身をかがめる。



屋外にいるとき 危険な場所から離れる

ブロック塀、自動販売機、古い建物などのそばから離れる。ガラスや看板、瓦などの落下物に注意して、カバンなどで頭を守り、広いところへ移動する。



日頃から準備をしておいてください! いざというとき、何が起こり、

絶対これだけは! 3日分の水・食糧を備蓄してください!

大地震が起きた直後、3日間は外部からの支援が届きません。3日間持ちこたえられるよう、水・食糧を備蓄してください。

水 9リットル×家族の人数

ひとり1日3リットルの飲料水が必要です
4人家族なら 9リットル×4人

食糧 普段食べているものでOK!

調理しなくても食べられるものをそろえてください

- レトルト食品(おかゆ・雑炊・シチューなど)
- 缶詰・びん詰め食品

冷蔵庫やパントリーはいつもいっぱい!

普段から、多めに買い置き、古いものから消費して、使ったらまたすぐに買い足しておく。常に「新しい在庫」を家に置いておきましょう。



▶それも備蓄のうちです!

何が必要になる?

停電!

- 電灯がつかない…
- テレビが見られない…
- 携帯電話が充電切れ…

断水!

- トイレが流せない…
- お風呂に入れない…
- 食器が洗えない…

ラジオを買っておいてください!

箕面市では、災害時の緊急情報をタッキー816 (FM81.6メガヘルツ)で繰り返し放送します。いざというときのために、持ち運びができるラジオを買っておいてください。スマートフォンなどで、タッキー816を受信できるものがあります。



普段から! これらの備蓄品は、非常用持ち出し袋に入れて玄関周りに置いておきましょう!

平成30年6月18日(月)午前7時58分頃、大阪府北部を震源とする地震が発生し、震度6弱の揺れが箕面市を襲いました。今後、このような大地震がいつまた起こるか分かりません。いざというとき、どこにいても慌てず、適切な行動がとれるよう、何が起こり、何が必要になるかを一つひとつ想像して、対策やとっさの行動を考えておくことが大切です。これを機会に、改めて災害に備えてください。